

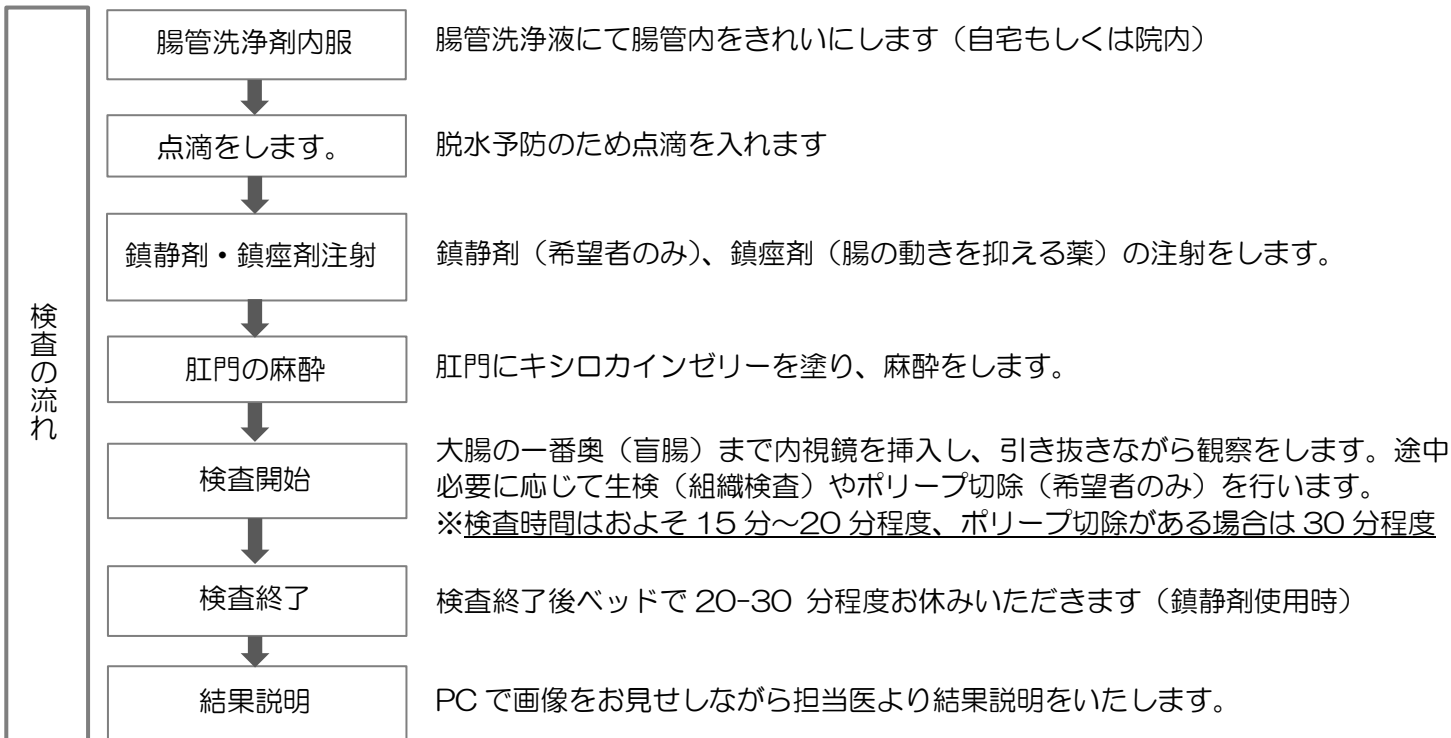
大腸内視鏡検査説明書・予約票

□同日（腹部超音波検査・胃内視鏡検査）あり

ID: _____
 氏名: _____様

検査日時: 年 月 日 () [:]
 _____: _____に来院してください

検査目的
 大腸（および回腸の一部）の粘膜を内視鏡（径 11mm）で直接観察することで、大腸癌や大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患など、大腸の病気を発見、診断するための精度の高い検査です。近年増加しつつある大腸癌の早期発見、早期治療には欠かせない検査となっています。



	飲食について	検査前内服薬および腸管洗浄剤
検査前日	夕食 □午後 8 時まで □通常通り（日付が変わる頃までに）	● <u>プルゼニド（ ）錠</u> □午後 9 時に内服 □夕食終了 1-2 時間後に内服
検査当日	朝食 □食べないでください 昼食 □食べないでください □検査終了後可能 ※水分は十分とっていただいて結構です。 ただし、乳製品、炭酸飲料は控えてください	● <u>ガスコン 2 錠</u> <u>ガスモチン 2 錠</u> □（ : ）に内服 ※腸管洗浄剤内服開始の 1 時間半前までに内服 ● <u>腸管洗浄剤</u> ※検査予定時刻の 3 時間前に内服開始 □自宅飲み（ : ）より内服開始 □院内飲み 来院後服用方法を説明します

内服薬
 朝のお薬は飲まないでください。
 （ ）のみ（ : ）までに内服してください。
 （ ）は _____月 _____日より内服を中止してください。

生検
 検査中病変が見つかった場合、必要に応じて生検（組織検査）を行います。生検とは病変の一部を鉗子（かんし）という処置具でつまみ、顕微鏡で観察する検査であり、より精密な検査が可能になります。

ポリ プ 切 除	<p>検査中、腫瘍性ポリープ（腺腫）や上皮内がんを認めた場合、希望によりポリープの切除を行います。当院では原則、高周波電流のような熱を加えずにポリープを切除する「コールドポリペクトミー」という方法で治療を行なっています。高周波電流を使用するポリープ切除と違い、血管の多い粘膜下層（粘膜の下に位置します）を傷つけずに粘膜の病変のみを摘除するため、出血や穿孔の危険性が低く安全な方法と考えられています。ポリープの形態・サイズ・性状によっては、従来通りの高周波電流を用いた治療や、入院での治療可能な施設へ紹介させていただく場合もあります。</p> <p>※ポリープを切除した場合、以下の制限が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●<u>3日～1週間の制限が必要</u> 腹圧のかかる運動・遠方への外出や出張・長時間の運転・アルコールや香辛料などの刺激物、脂肪の多い食事など ●<u>1～3日間の制限が必要</u> 長時間の浴槽への入浴 						
偶 発 症	<p>腸管洗浄液（0.00001%）・鎮静剤・鎮痛剤などの薬剤（0.0028%）によるもの</p> <p>大腸に強い狭窄がある場合、腸管洗浄液を内服すると、強い腹痛や嘔吐、まれに腸管に穴が開く場合がありますので、事前に腹部レントゲン撮影を行い、狭窄の有無などを確認します。検査をより楽に受けていただくために鎮静剤や鎮痛剤を用いる場合があります。以前の検査時の苦痛の程度や年齢、体格などで投与量を調節していますが、呼吸抑制や血圧の低下、気分不良を生じる場合があります。しかしながら重篤なものは極めてまれです。</p> <p>内視鏡検査によるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出血 血液をサラサラにする薬を飲まれている場合を除き、ほとんどの場合自然に止まります。万が一出血が強い場合にはその場で止血術（金属のクリップではさんでとめます）を行う場合もあります。 ●消化管穿孔（腸の壁に穴があくこと）・・・ 非常にまれな合併症ですが、腹部の手術や放射線治療の既往、大腸多発憩室や憩室炎のある方で、腸管の高度な癒着がある方でおこる場合があります。 <p>※ 日本消化器内視鏡学会の全国調査（2008年～2012年）によると、大腸内視鏡検査（生検を含めた観察のみ）での偶発症発生率は0.012%、治療も含めた検査全体での発生率は0.078%、死亡率は0.00082%と報告されています。当院では検査中、血圧・脈拍・酸素飽和度などの測定を行い、気道確保器具や酸素投与、昇圧剤、鎮静剤に対する拮抗剤など偶発症発生時に迅速に対応できるよう準備を整えています。万が一、偶発症が起きた際には当院で可能な最善の処置・治療を行います。状態によって入院や緊急の処置・手術などが必要になる場合があります。対応可能な施設への紹介を含め、しっかりと対応させていただきますが、その際にかかる費用は、原則として患者さんのご負担となりますことをあらかじめご了承ください。</p>						
費 用	<p>3割負担の場合</p> <table border="0"> <tr> <td>観察のみ</td> <td>約 7,000 円</td> </tr> <tr> <td>生検を行った場合</td> <td>約 11,000～18,000 円</td> </tr> <tr> <td>ポリープ切除した場合</td> <td>約 24,000 円～30,000 円</td> </tr> </table> <p>※ ポリープ切除を行った場合、日帰り手術として保険請求可能なケースもあります。加入されている保険会社にご確認ください。</p>	観察のみ	約 7,000 円	生検を行った場合	約 11,000～18,000 円	ポリープ切除した場合	約 24,000 円～30,000 円
観察のみ	約 7,000 円						
生検を行った場合	約 11,000～18,000 円						
ポリープ切除した場合	約 24,000 円～30,000 円						
そ の 他	<p>鎮静剤を希望された場合、車やバイク、自転車での来院はおやめください。診察状況によっては多少お待たせする場合がございます。ご了承ください。予約変更、取消は少なくとも前日（休診日をのぞく）までにご連絡ください。</p>						